



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第472号 2020年3月22日発行

2019年10月、八千草薫さん逝去の報に触れ、多くの人が悲しみに暮れたことを思い出します。あまり知られていないかもしれませんが、八千草薫さんはプール学院高校の同窓生でいらっしやいます。それゆえに、八千草さんは多くのプール学院に連なる方々が大きな憧れを抱いている、特別な存在感のある方でした。過日、ある一人の卒業生の



ふたつの花束 大齋節、まだまだ慎み深く

司祭 フランチェスコ 成岡 宏晃

ん逝去の知らせを耳にした時、悲しみにくれながらも、今までの人生の励みであり、心の支えであった八千草さんに何かしらの形で感謝の気持ちを伝えたいと思いついたそうです。「どこにいけばいいのかわるか、誰にこの思いを届けたらいいのだろうか。」この心の思いは、真つ先にNさんと八千草さんをつなぐ、母校プール学院へ向けられたの

さん、それでも信頼を寄せていた先生に支えられながら少しずつ成績も上がり、前向きに卒業されたものの、大勢が集まる同窓会にはなかなか参加できず、母校へのご自身の思いは宙ぶらりんになっておられたようです。「50年ぶりに、母校へ帰って来ることができた。」そのきつかけは、ご自身の人生の支えであった大切な先輩へ、感謝の気持ちを伝えたいという力

得たこと、皆さまとの出逢いに感謝します。」と書かれたメッセージカードが添えられていました。
「すべての命と力の源である神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。」これは復活日の特祷の一部です。Nさんはきつと、復活体験をされたのではないかと感じずにはいら

方が、素敵な花束を抱えてプール学院へ来校されました。

です。

この度の来校はNさんにとつて50年ぶりで、卒業してから初めてのことでした。学院へ来校されると、50年前の在校時のこと、八千草さんのことを振り返りつつ、またご自身の家族のことを心に留めて礼拝堂である清心館でしばらく祈りをささげられました。

「何のお花にし

くご存じで、私たちの弱さをいつでも温かく包んでくださり、何度でも私たちに「Be with You」と語りかけてくださるご復活のみ子を、まことの喜びの内にお迎えるために、私たちの心に宙ぶらりんになっている想いがあるとすれば、その想いが神さまによって自分の生きる糧へと変えられることを信じて、今しばらく神さまのみ前で慎み深く、自分自身と向き合うひと

そんなNさんは、八千草さん

霧囲気には馴染めなかったN

校時代にあまり学校の

城南キリスト教会牧師、プール学院中高チャプレン)

先日、私の人事異動の公示を見た方から、小林は大阪聖パウロ教会の任を離れてどうなるのだろうかと心配され、「あんなに聖公会を楽しんでおられたのに」という内容の連絡を頂き、

事情を説明させて頂いたことがありました。昨年4月の辞令で聖贖主教会牧師と博愛社チャプレンの任命が出されており、そちらを引き続きさせて頂くのですが、私はある方からの「あんなに聖公会を楽しんでいた」という文面にとても嬉しい気持ちになりました。

私は自分以外の方から私が楽しんでいっているように見えることが、何だか嬉しくて、あらためて私は聖公会が好きなんだと思わされましたし、それはどこから来るのかを思いめぐらしてみました。聖公会を楽しむという言葉には実に聖公会ら

聖職リレーエッセー 14



聖公会を楽しむ

司祭 バルナバ 小林 聡

しきがあるような気がします。私はこれまで聖公会の色々な取り組みに関わらせて頂きましたが、日本聖公会の歩みには、懐の深さや物事を掘り下げ預言者的に関わる宣教姿勢があるように思います。そのことは神の和解の業のために消えてなくなることを使命とするという嘗てのカンタベリー大主教の言葉にもよく表れていると思います。建物や組織の維持のためにある教会ではなく、他者のために消えてなくなることを使命とする教会、そういう聖公会の一員として、私は聖公会を楽しんでいるのだとあらためて思わされるの

でした。これからも大いに聖公会を楽しみたいと思います。(こぼやし さとし・聖贖主教会牧師、博愛社チャプレン)

※次回は原田佳城司祭にお願います。

「大阪教区英語礼拝」って？

司祭 ウイルソン ウォーレン

「大阪教区英語礼拝」のことをご存知ですか。

この礼拝の始まりは、当時大阪聖パウロ教会牧師の竹内信義司祭の下に梅田学園英語専門学校でご奉仕されたフランス・ポーランド宣教師が、1983年11月27日の日曜日



に英語の「夕の礼拝」を始めました。多くの聖職と信徒のご奉仕の上で礼拝が続けられ、途中から聖餐式を執り行うようになりました。しばらくの間、8月を休みにしていましたが、近年は毎月変わらず、第4主日に「英語の聖餐式」を執り行うことになりました。

毎月、第4主日の午後4時より大阪聖パウロ教会に約20人が集まり、英語の式文に基づいて、英語の説教を聞いて、聖餐式を守っています。参加者はそれぞれです。海外出身の方も日本人も一緒に礼拝をしています。英語が殆ど出来なくても喜んで参加される方もおられます。海外からの観光客や出張中の方や日本定住の方など、国際色豊かな、多様性のある交わりです。

しかし、特に最近、正式に「教会」とは言えませんが、段々と一つの「会衆」になりつつあります。昨年9月22日(日)に、英語礼拝の中で

初洗礼式の幼児洗礼(教区報第470号に記載)があり、また、会衆のメンバーの希望により英語での「クリスチャン黙想」活動が始まりました。昨年11月30日(土)に、京都教区のスコット・マレー司祭のご指導で、黙想体験を含めた講習会が開かれました。続いてアドベント黙想会シリーズを行い、その後、月一回、平日の夕方黙想会を行っています。今、外国人雇用が進む中、

新たな伝道宣教活動が必要になっていきます。そのため、現在、集まっている方々の牧会を含めて新たな伝道宣教活動のために教区レベルで検討が始まっています。

これからも、是非、皆さんのお祈りをお願いいたします。また、是非、第4主日の午後4時からの英語礼拝をご一緒に過ごしましょう！
(ういるそん うおーれん・芦屋聖マルコ教会牧師)



伝統工芸螺鈿のチャリス・パテンが使用されました。説教のアメリカ聖公会マイケル・カリー総裁主教様はイエスに従いなさい、ここの皆さんは洗礼を受けたでしょうと会衆席を回ってあなたもあなたも、指さされ深い目差しで見つめ論されました。礼拝の

2月22日(土)に行われた台湾聖公会主教按手式に磯主教様ご夫妻、聖職者3人信徒9人で参加させていただきました。高雄に到着してすぐに台湾聖公会パウロ教会を訪問、教会の皆様から熱烈な歓迎を受け、南国の国ならではの美しい色鮮やかな花が、礼拝堂やお茶の席に飾られ、珍しい茶菓と果物は旅の疲れを癒やしてくれました。

いよいよ台湾聖公会主教按手式が主教座聖堂で始まり、420人程の参加者で溢れかかりました。礼拝では、大阪教区からのプレゼント、川口基督教会信徒内海紗英子さん作の

です。今地球は傷だらけです、人々の心も病んでいます。負けずに主の声を聞き、この十字架を胸に歩んでいきましよう。と心に響くお話が染み渡

着任メッセージ



馴染みのある場所

司祭 シモン 原田 佳城

3月1日(日)付けて神戸

教区から大阪教区に出向として大阪聖パウロ教会に勤務することになりました原田佳城です。西宮市生まれ、その後川西市で育ちましたが、故八代欽一主教に導かれ、神戸教区で32年間働きました。勤務地だった広島(山陽)、米子(山陰)、徳島(四国)、明石(神戸)に加え、それぞれの地で管理牧師として他の教会でも礼拝を捧げておりましたので、神戸教区ほぼ全域を巡って来たと思います。またどの教会にも幼稚園が併設されており、幼稚園のチャプレンとしての勤めもあったため、信徒の方々だけでなく、近隣の方々とともに交流があり、地域に根差

した働きも心がけてきました。この度思いがけず大阪教区出向となりま

ました。礼拝が終わると、朝八時から作って下さった日本式の美味しい昼食を頂き、沢山の土産まで頂戴し、素晴らしすぎるおもてなしに感謝しながら飛行場に向かいました。(いわき まきこ・川口基督教会信徒)

したが、大阪聖パウロ教会のある地域は、学生時代遊んだ大変馴染みのある場所です。私には、「帰ってきた」という思いもあります。新しく与えられた聖パウロ教会は、これまでとは全く違うタイプの教会だと思

大阪教区・京都教区 教区子ども礼拝
キッズフェスティバル2020
～虹をみたかい?～
 「すなわち、わたしは雲の中にわたしの虹を置く。
 これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」
 (創世記9:13)
4月29日(水・休)
 10:30 開会礼拝・オープニング
 (10:00 受付～15:00 解散)
 会場: 京都教区 聖アグネス教会
 平安女学院中高

教 区 の 動 き

教会・施設の動き

○川口基督教会

川口基督教会では、堅信受領者総会の会場配置を大幅に変更した。議長席を中心に教会委員や出席信徒全員が口の字に座り、顔と顔とが見える会場として営まれた。また、昨年9月に関西NHKニュー

ス番組に取り上げられた映像や一年間の諸礼拝や行事等の写真をスライドで編集し、総会前に皆で一年間を振り返った。この映像は150周年企画で受付に設置した見学者用のスクリーンにも流す予定である。

○博愛社創立130周年
今年1月1日に博愛社は創

立130周年を迎えました。当初は、子どもたちの祈りから始まった教会の礼拝堂で、共に生きるための学びの時間を4月19日(日)午後1時半から4時半、「自分を生きるために(子ども達と児童精神科)」と題して、児童精神科医の夏苺郁子先生に講演して頂く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。どうぞ引き続き博愛社の働きのために祈りください。

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

◇ 4月8日(水) 午前10時30分

於：主教座聖堂(川口基督教会)

説教者 司祭 ジョージ 林 正樹

執事 中西 義之(1909.4.1)

主教 ジョン・マキム(1936.4.4米)

司祭 ジョージ・ウィリアム・ローリングス(1933.4.7英)

司祭 名出 武(1945.4.7)

伝道師 織間 小太郎(1934.4.15)

司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎(1956.4.15)

司祭 ペテロ 藪本 竹次(1979.4.15)

司祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド(1993.4.15加)

司祭 パウロ 藤倉 恒雄(2001.4.17)

宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド(1922.4.20英)

司祭 ステパノ 井上 俊一(1983.4.20)

宣教師 エレノア・メアリー・フォス(2002.4.21英)

司祭 早川 喜四郎(1943.4.23)

主教 ジョン・チャールズ・マン(1967.4.28英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

祝 受 洗



○川口基督教会

ナイチンゲール

小代奈央子

(2019年12月22日)

マルタ 南埜 節子

(2月20日)

祝 初 陪 餐



○川口基督教会

ナイチンゲール

小代奈央子

(2019年12月22日)

マルタ 南埜 節子

(2月20日)

魂の平安を 祈ります

○川口基督教会

荒木 富枝

(1月4日) 77歳

中村 彰子

(2月11日) 93歳

稲葉 千香子

(2月15日) 72歳

モニカ

○堺聖テモテ教会

マーガレット 小池 妙子

(2019年12月11日) 88歳

下司 佐喜子

(1月8日) 91歳

○恵我之荘聖マタイ教会

ルツ 坂東 泰子

(2月26日) 91歳

○西宮聖ペテロ教会

クララ 芋田 登美子

(2月19日) 79歳

お詫び

第471号の逝去者欄に、堺聖テモテ教会お二人のお名前が抜けていましたので、今号に掲載しています。お詫び申し上げます。

【お知らせ】

今号の「ひつじだより」

は教区ホームページに
掲載して
います。

